



祝美浦村はたちのつどい

はたちの主張

※一部を抜粋して掲載しています

いしい みずき
石井 瑞貴 さん

私は医療を学ぶ専門学校に通っており、春から就職活動が始まります。いよいよ社会人として新たな一歩を踏み出すのだと実感しています。不安なことが多々ありますが、これまで学んできたことを活かし、社会で沢山のことを吸収しながら一步一步確実に成長していきたいと思います。

女性の社会進出が進む時代において将来を豊かなものにするため精進してまいります。

いしかわ ゆうたろう
石川 優太郎 さん

大学では経済学を中心に学び、特に地域社会の課題解決に取り組んでいます。地域社会の課題を単に表面的に捉えるのではなく、経済的な視点から分析していくことを重点的に行っています。

今後はそこで得た学びを活かし、地域社会の課題を自分事として捉えながら、少しでも社会に貢献できる存在を目指したいと考えています。

のじ みり
野路 実莉 さん

新型コロナウイルスの影響で不安な高校生活を送りましたが、自分にできることを考え行動することで充実した日々を過ごしました。現在は専門学校に通い、料理やお菓子を通して人を笑顔にする喜びを実感しています。

友人、先生、地域の方々、家族への感謝を胸に、再会できた喜びを原動力に変えて新たな道を歩んでいきます。

令和7年 美浦村はたちのつどい

希望あふれる

「はたちの門出

令和7年1月12日、中央公民館において、令和7年美浦村はたちのつどいが行われ、今年度二十歳を迎えた144名のうち97名（男性54名、女性43名）が出席しました。今年度も多くの二十歳を迎えられた方々が一堂に会し、華やかな振袖やスーツ姿で会場には希望に満ちた爽やかな笑顔が溢れていました。

式典では、同級生との思い出をまとめたビデオ上映が行われ、懐かしさで喜びの声が上がりました。また、代表3名の方による「はたちの主張」では、二十歳になった決意や将来への夢、お世話になった方々への感謝が発表され、参列した保護者をはじめ、参加者より盛大な拍手が送られました。

二十歳の皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、今後のご活躍を期待しています。

参加者代表謝辞

いしかわ こうた
石川 航大 さん

二十歳という節目は、成長と自立の象徴であり、多くの方々の支えの中で私たちは本日無事にこの日を迎えることが出来ました。これまで温かく支えてくださったご家族、ご指導くださった先生方、そして地域の皆様に深くお礼申し上げます。日々の中でいただいた励ましや優しい言葉は、新たな挑戦への力となり、困難な時には私たちを救ってくれる存在でした。

二十歳を迎えた私たちは、大人としての責任を自覚し、社会の一員として役割を果たす覚悟を持って進んでまいります。これからは、試練や困難にも向き合いながら、自らの可能性を信じて努力を重ねていきたいと思っています。

「一粒万倍」の言葉のように、小さな行動が大きな実りとなるよう日々成長し、社会に貢献できる存在を目指します。